



# こたけ

# 議会だより

第 214 号

平成28年 8月1日

■発行 小竹町議会  
 福岡県鞍手郡小竹町  
 TEL 09496-2-1967  
 FAX 09496-2-1140

■編集 議会広報編集委員会

■印刷 マツオ印刷株式会社



小竹こども園の園児たちの願いがこもった大きな七夕飾りです。

## もくじ

- ◆ 主な議案…………… 2
- ◆ 平成28年度補正予算 …… 2
- ◆ 一般質問…………… 3

6月定例会

(平成28年6月9日～平成28年6月21日 13日間)

## 初盆会の御香典や寄付は 禁じられています。

ことしもお盆の季節を迎え、初盆のご家庭には謹んでお悔やみ申し上げます。

議員の初盆会での御香典や、諸行事等での寄付行為は、公職選挙法で禁止されています。

# 6月定例会の主な議案

6月定例会は、6月9日から21日まで、会期13日間の日程で開かれました。  
条例案・補正予算案等の議案が提出され、審議の結果、賛成多数で可決しました。

## 意見書

◎庁舎建設に係る財政支援  
制度創設を求める意見書

…………… 可 決

疾病の予防への一定の取組みを行う個人が特定一般医薬品等の購入費を支払った場合に、平成30年度から平成34年度までの個人住民税に限り、医療費控除の特例を規定するもので、通常の医療費控除とどちらかを選択できるようになります。

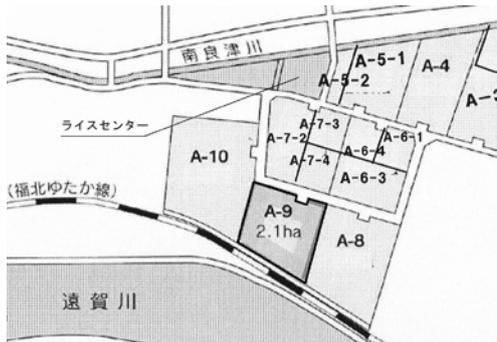
## 医療費控除の特例の創設

地方税法の改正にともない、法人町民税の法人税割が100分の9.7から100分の6へ引き下げられます。

## 法人町民税 法人割の改正

## 財産の処分

小竹団地に、進出を希望する企業から、建設中の物流センターの補充機能として、商品加工センターをメインに、リサイクル施設や技能研修施設を併設するため、土地譲受申請書が提出され、団地内のA-9区画の財産を処分するものです。



【所在地】  
大字南良津字出口19番5  
【処分面積】  
2万1019.34㎡  
【処分価格】  
9458万5500円  
【処分の相手方】  
株式会社 ハローデイ

## 予算委員会の主な質疑

- 問** 北小学校大規模改造工事請負費を減額した経緯は。
- 答** 学校施設の環境整備として当初、2億6千万円の予算を計画していましたが、国の予算が縮減されたため、1億6千万円で計上していました。
- 問** しかし、1年繰り延べると当初の予定どおり2億6千万円規模の安全・安心な学習環境を子ども達に整えられるので、来年度に工事を延期しました。
- 問** 小竹団地施設維持管理費の積立金1千万円について。
- 答** 平成12年度末残高は、2千7百万円ありました。15年間で1千8百万円を取り崩し、今現在890万円になっています。
- 問** 議会の議員報酬の額、町長、副町長、教育長の給与額に関する条例を議会に提出するとき、報酬審議会に諮問される内容は。
- 答** 現在は、大幅な減額を特例条例により行っています。

特別職の報酬、給料の額について、また特例条例の内容についても諮問を考慮しています。

**問** 建物事後調査委託料の475万円は、どの工事で何軒分か。

**答** 蛇牟田川の改修工事で9軒分です。

**問** ふれあい運動会が休止になった経緯は。

**答** ふれあい運動会の実施は、自治会長会の意見を賜り、本年は休止を判断しました。

## 平成28年度補正予算

一般会計 ……△1億3,089万円

特別会計 …… 1,232万円

(国民健康保険特別会計 232万円)

(農業集落排水事業特別会計 1,000万円)





# そこが知りたい 一般質問

## ●本町の防災

秋吉 俊英 議員

- ① 指定緊急避難場所・指定避難所には表示板を設置すべきではないか。
- ② 自主防災組織への貸与品の内、期限切れの物品の交換及び配置は。
- ③ 災害時の飲料水・食料等の備蓄の整備を。

松尾町長

① 昨年、町民の皆様にご配布しましたハザードマップに、本町の指定緊急避難場所として、中学校と中央公民館の2か所と指定避難場所として小学校のほか、15か所を記載しています。

案内板につきましては宝くじ助成制度があり、そういう制度を活用して、今後審査を行い、設置する方向で進めます。

② 今後の防災訓練のあり方、各地区の自主防災会長や自治会長との協議を7月下旬に行います。その中で、期限切れの物品の交換及び配置を検討します。

③ 現在、飲料水として、2リットルのペットボトルを中央公民館に114本、福祉センターに162本備蓄しています。食料はトライアルと協定書を締結しており、優先的に供給していただくという体制をとっております。



## ●本町における地震対策は

谷川 龍児 議員

- ① 災害対策本部に指定してある公共施設の耐震化を急ぐべきでは。
- ② 個人の木造戸建て住宅の耐震化率と住宅耐震改修補助金制度の普及状況は。
- ③ 防災訓練の一端として、地震災害に対する研修や避難訓練等を実施すべきでは。

また、減災対策として住宅の耐震化や家具・電化製品の転倒防止・落下防止などの周知を図るべきでは。

松尾町長

① 改正耐震改修促進法が施行され、耐震診断が義務づけされた緊急安全確認大規模建築物として、該当する公共施設については、小・中学校の耐震補強工事はすでに終了しました。これ以外の老朽化した公共施設は耐震診断・補強工事・建て替え等を含めて、検討を急ぐ必要があると思っております。

また、災害対策本部となる役場庁舎に關しては、特に重要課題として位置づけています。

② 平成26年7月に小竹町木造戸建て住宅耐震改修補助金交付要綱を策定していますが、補助金の利用はありません。

今後は、さらに周知の方法を考えていきたいと思えます。

③ 地震災害に対する訓練・対策につきましては、先日行われました防災訓練を今後も継続し、充実に、本年7月に自主防災会長等の協議会の開催を計画しており、今後の訓練・研修及び減災対策の住宅耐震改修補助金の周知や家具等の転倒防止対策の普及について協議し、住民の皆様にご協力するように努めていきます。

# そこが知りたい 一般質問

## ●小竹町人口ビジョン・総合戦略 ●本町における人事評価制度

和田 立美 議員

① 小竹町人口ビジョン・総合戦略では、まちの駅・かわの駅を推進・設置すると書かれています。小竹駅西口開発でまちの駅・かわの駅がどのように位置づけられていくのか。



② 本年度から人事評価制度が導入され実施しています。この人事評価制度は、人材育成制度として、より高い能力を身につけ、住民サービス向上に努めるべき制度です。

① 本町は今、少子化、高齢化及び人口減少社会の到来で、危機迫る思いで町政を担っている状況です。

② 人事評価制度の信頼を高めることで職場環境の向上、活性化と職員の仕事への情熱、やる気を促すことで職務遂行能力を高めていく制度になるよう積極的に活用していきます。

西口開発は、小竹町の行方を左右するもので、思い切った大胆な発想でオリジナルを持った西口開発を考えるべきであり、急を要する七福町営住宅の建て替えを駅周辺に移設することや、若者向け定住マンションを建設しては。

人口ビジョンに掲げた中長期の目標人口を維持できるように西口開発を中心とした戦略をやり抜きたいと思っています。また、七福町営住宅の建て替えや若い世代から高齢者まで多世代間の交流を可能とする住環境の整備など、まちづくり政策課を中心に各事業の協議を進めていきます。

松尾町長

## ●小竹町の地域社会づくり ●CCRC事業の将来

水谷 日出男 議員

① 小竹町の最も大きな「コミュニティ「ふれあい運動会」が、財政的なものや高齢化、人材不足が大きな原因の一つとして休止になった。3年前に町民のコミュニティの場が必要とふれあい運動会を再開した経緯があり、将来のまちづくりやコミュニティは、どうするのか。

② 高齢者の地方移住を促す生涯活躍のまちづくり構想CCRC事業に参画したが、魅力ある自慢できるものをどうやってつくっていくのか。

③ 将来に向けてどのような地域を目指し、進展させるのか。

④ 町民の健康を守り、高齢者の医療介護予防のための生涯スポーツ普及の具体的な考えは。

松尾町長

① 行財政改革の中で町民ふれあい運動会が課題としてあり、本年度は休止とした。新たなコミュニティづくりの場となるよう、各地域における普及活動、高齢者が多く参加するスポーツ大会の開催等を教育委員会と協議していきます。

② 都会から健康なうちに移住してもらい、地域に溶け込み、仕事や社会活動、生涯学習など生きがいを持って生活できるよう移住者と協議しながら進めていきます。

③ 高齢者も若い世代も楽しく暮らす町人口は少なくとも町民の満足度が高い町として注目を浴びる町を目指します。

須藤教育長

④ 子供から大人まで、誰もがいつでも気軽に楽しめる生涯スポーツの振興を目的に体育協会やスポーツ推進委員会と連携し、年間を通じてさまざまなスポーツイベントを実施しています。





### ●若者の政策形成過程への参画 ●庁舎外の公共施設等のトイレの整備

大安 美佐代 議員

- 若者の声を反映させ、町政における影響力を実感できる施策の充実を。
- ① 審議会等に若者を登用
  - ② 若者会議の実施
  - ③ 青少年モニターの公募
  - ④ 選挙啓発
  - ⑤ 洋式トイレや温水便座等へ改修

#### 松尾町長

① 審議会等への委員の選任は、選定枠を設けて委員にお願いしており、募集要項を定めて20歳以上の町民を対象に募集を行いました。若い方からの応募はありませんでした。

選挙については、

公募によって立会人等の名簿掲載者の募集をしていきます。

② 次世代の意見を参考にすることは必要ですので機会があれば検討していきたいと思っております。

③ 福岡県が実施している県政モニターは18歳以上の方が対象で、性別・年齢等を考慮して選定されており、若年層のみ

を対象としたモニターの実施には、無理があると思うています。

④ 若年層への選挙啓発活動は重要なこととあり、有効な手立てを選挙管理委員会と協議しながら進めていきたいと思っております。



⑤ 庁舎外の公共施設等のトイレ整備は、管理が非常に難しく落書き・破壊・盗難等で被害が出ている状況です。

現在、第6次行政改革中で財政状況からも大変きびしいと思っておりますが、検討していきます。

近年子どもたちの貧困問題が深刻化し、国においては、子ども

の貧困対策を総合的に推進することを目的として、平成26年

1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を施行し、同年8月に「子どもの貧困対策に関する大綱」を示している。

### ●子供の貧困対策

吉野 欽也 議員

① 地域子ども未来応援交付金の活用で、支援ニーズの調査や、貧困家庭の実態調査・支援体制の構築など、貧困解消に向けた整備計画を策定すべきでは。

② 子どもたちの教育格差の解消のために、給付型奨学金の創設をすべきではないか。

③ 小・中学校に通う一人当たりの学習費の総額は。

本町の現状と今後の施策は。

④ 準要保護の認定条件の本町の規定は、国は補助費目をクラブ活動費・生徒会費・PTA会費なども追加するようになっていくが、本町の実施状況は。

入学準備金と修学旅行費の制度も拡充すべきでは。

#### 松尾町長

① 生活習慣の改善や健康面など特別支援、学力はあるが奨学金等の進学相談・進学のための個別の学習支援など、必要とする子どもたちの把握や分類を行なう必要はあります。

教育委員会と十分協議の上、整備計画の策定を検討していきたいと思っております。

② 本年から1年をかけて、ニーズ調査の結果を踏まえ、給付型奨学金制度は真摯に検討したいと思っております。

③ 学習費総額は、小学校は約32万円、中学校は約48万円です。

④ 認定条件は生活保護基準の1.5倍で、修学旅行費は実費支給です。

入学準備金は今後検討していきます。



# そこが知りたい 一般質問

TPPは「聖域5品目」といわれた米・麦・牛肉・豚肉・乳製品・砂糖の3割で、それ以外の品目では98%で関税がゼロとなっているが、これは国会決議に反する。

## ●TPPについて

宮野 一男 議員



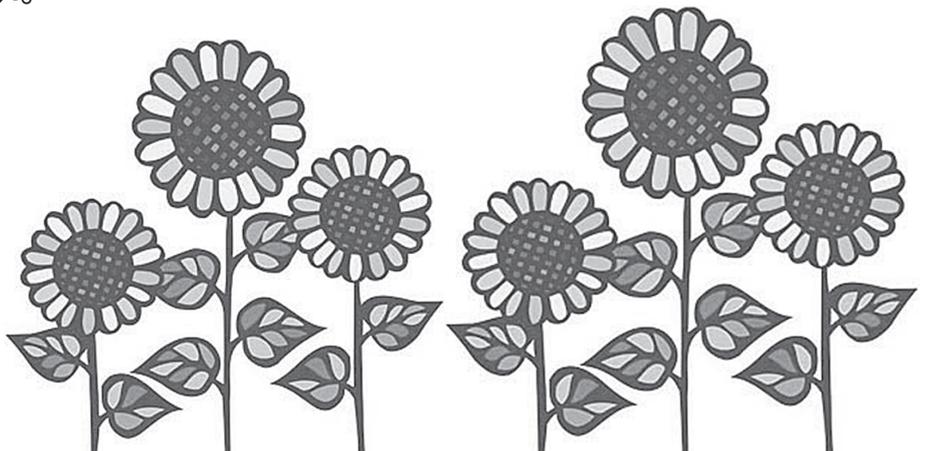
米は関税は守られたものの、主食用として7.8万トン、加工用として、6万トンを輸入することになっている。  
これに対し、政府は、国内生産に影響はないと言っているが、信じていたい。  
よって、全農家を対象にアンケートを取るなどの調査をすべきでは。

松尾町長

TPPについては、大筋合意をしていますが、最終的な協定締結は流動的な面があるかと思っています。  
米は、国別枠の輸入量に相当する国産米を政府が備蓄米として買い入れ、価格に与える影響を遮断する見解を示していますが、市場開放による影響への懸念や不安があります。  
市場開放に耐えうる農業の体質強化に努めなければなりません。  
アンケート調査に関する手法の検討、調査項目、費用、専門家の分析、結果の活用方法など多くの課題がありますので、農家の意見、近隣市町村等の取り組みを参考にしながら慎重に検討を進めていきたいと思っています。

## 次回の定例会は、 9月1日(木)開会予定です。

※事情により変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。



## 5月10日 全員協議会が開催されました。

### (事案) 副町長の辞職について

町長より、副町長が一身上の都合により4月30日をもって辞職されたとの報告がありました。

## 5月臨時会の開催

### 5月20日に臨時会が開催されました。

主な内容は以下のとおりです。

- ◎ 平成28年度国民健康保険特別会計補正予算 ..... (可決)
- ◎ 小竹町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ..... (専決処分の承認)
- ◎ 平成27年度小竹町一般会計補正予算 ..... (専決処分の承認)
- ◎ 平成27年度小竹町公共下水道事業特別会計補正予算 ..... (専決処分の承認)
- ◎ 蛇牟田川護岸改修工事(1工区)請負変更契約締結 ..... (専決処分の報告)
- ◎ 蛇牟田川護岸改修工事(2工区)請負変更契約締結 ..... (専決処分の報告)



西原村 坂梨議長に義援金を手渡す  
議会運営委員会 和田 明 委員長



(写真提供 西原村)

## 熊本県阿蘇郡西原村へ 義援金を届けました

この度、熊本地震被災地西原村へ行く事ができ、自然災害の怖さに不安を抱きながら視察を行いました。

今回の目的は、議員各位・課長会・職員組合の皆様方の義援金を届けることでした。無事に皆様方の御厚情を届けることができ、西原村の村長・議会議員の方々より感謝の言葉と西原村復興に向けての決意が述べられ、感動の極みでした。

西原村は、災害を経験した事により、必ず今までの以上の西原村へと復興するものと確信し帰路へ着きました。

今日の自然災害は小竹町においても絶対に発生しないとは言えません。私達議会もさいど防災計画を見直し、町民の安全・安心に向けて努力してまいります。

(議会運営委員会

委員長 和田 明)

# 議会が同意した人事

## 小竹町固定資産評価審査委員会委員

梶原 八郎氏 (再任)



住 所 小竹町大字新多三二一番地 (新多区3組)  
生年月日 昭和19年2月18日

山崎 伸一氏 (再任)



住 所 小竹町大字御徳一二二四番地二 (御徳1区8組)  
生年月日 昭和23年3月7日

平田 優氏 (再任)



住 所 小竹町大字勝野 四〇〇二番地三九 (七福区23組)  
生年月日 昭和26年1月14日

## 編集後記

暑さ厳しい日が続いていますが、熊本震災の被災地では、暑さのなか大勢の方がボランティア活動で頑張っています。

被災者の方からお聞きした話ですが、前震のときに家屋が倒壊し閉じ込められ、途方に暮れていると、懐中電灯の光が射ってきて、名前を呼ばれ、倒壊家屋から引っ張り出してもらい、九死に一生を得たとのことでした。

助け出してくれたのは、ご近所の方々で、共助の有り難さを痛感したとおっしゃっていました。

本町の議会も議員全員、共助の精神で本町を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

(議会広報編集委員会)

委員 秋吉俊英)

## 議会を傍聴してみませんか

議会の傍聴は、手続きが面倒と思われるかもしれませんが、面倒と思われてはいないでしょうか。そうではありません。傍聴の手続きは、受付簿に住所、氏名、年齢、性別を記入するだけです。議会は、予算や条例をはじめ、行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

なお、定例会の開催予定日が近づきましたら、役場の掲示板、ホームページでお知らせします。傍聴場所は、役場3階議場内傍聴席です。また、テレビ放映による傍聴は、手続きは不要で役場1階ロビー、町総合福祉センターでできます。詳しくは、議会事務局まで、お気軽にお問い合わせ下さい。電話 ②-11967

【議会傍聴案内図】

